

【ニュースリリース】

2012年3月9日

各位

ユナイテッド・エンターテインメント・ホールディングス株式会社

アドバンテッジパートナーズ有限責任事業組合

**ユナイテッド・エンターテインメント・ホールディングス株式会社による
ユナイテッド・シネマ株式会社の買収について**

アドバンテッジパートナーズ有限責任事業組合(以下「AP」)がサービスを提供するファンドの出資するユナイテッド・エンターテインメント・ホールディングス株式会社は、本日、ユナイテッド・シネマ株式会社(以下、「UC」)の100%の発行済み株式を住友商事株式会社より譲受いたしました。

UCは、UCIジャパン時代の1996年の滋賀県大津開業から始まり、2005年7月には、日本AMCシアターズが所有する福岡地区2劇場、中部地区2劇場計4劇場(63スクリーン)をグループに吸収し、現在では全国で20か所の劇場を運営する日本有数のシネマコンプレックス・チェーンへと発展してまいりました。『お客様に信頼され、愛される映画館』を目指し、最新の邦画・洋画を取り揃えたラインナップはもちろん、数々の企画上映やイベント、そして新しいコンセプトでフード&ビバレッジを提供するラウンジでの落ち着いたひとときや様々なエンターテインメントとのコンビネーションで、新しい時間消費型レジャーのニーズにお応えするよう努力しております。2006年以降に開業した豊洲、前橋、埼玉県上里、南古谷、浦和、春日部サイトについては、“デザイナーズ・シネコン”という斬新性と新たな可能性のあるコンセプトを提案し、高い評価を得ております。

APは、UCがこれまでに確立した魅力的なビジネスモデルと高い成長性、並びにUCの経営理念や従業員の事業に対する熱意を当社の投資理念や運営経験に照らし合わせながら、今回の株式譲渡に関する検討を重ねて参りました。その結果、本取引が、UCの既存のお客様並びに将来のお客様に一層質の高いサービスを継続的に提供することを可能とするものであることを確信するに至りました。

APは、これまでの豊富な投資実績を背景にして、UCの経営陣と共同で新生UCの経営に参画し、更なる事業価値の創造を全面的に支援して参ります。具体的には、UCのこれまでの成長路線を継続しながら、デジタル化投資への対応、マーケティング力の強化等APが培ってきた経営ノウハウ、ネットワーク及び人材を活用して、成長戦略の確立を短期間に実現できるよう連携して参ります。また、APは、サービス提供先ファンドの投資先企業を含めた幅広い企業とのネットワークを有しており、UCの戦略的支援も含めて、ネットワークを活かした経営支援を積極的に行って参ります。

＜本件に関する問い合わせ先＞

担当:津田 Tel: 080-5673-3003

ユナイテッド・エンターテインメント・ホールディングス株式会社について

設立 : 2010年5月

所在地 : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門 Towers オフィス 17階

アドバンテッジパートナーズ有限責任事業組合について

創立 : 1992年12月17日

(2005年9月13日に株式会社から現組合に組織変更)

所在地 : 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門 Towers オフィス 17階

アドバンテッジパートナーズ有限責任事業組合は国内外の機関投資家(生損保、銀行、商社など)によって組成される投資組合に対してサービスを提供する独立系プライベートエクイティ(PE)会社です。1997年に日本初のPEファンドへのサービス提供を開始以来、業界の第一人者として、複数のファンドに対して数多くの有力案件の精査や企業価値向上のお手伝いをして参りました。当社がサービスを提供しているファンドは、これまで約14年にわたり34件の投資を実施しており、投資実行・投資回収の両面において国内最高レベルの実績を誇っております。